

## 令和3年度第6回出雲市スポーツ振興審議会 議事録

1. 開催日時 令和4年2月3日(木) 10:00~11:00

2. 開催場所 出雲市役所4階 共済会会議室

### 3. 出席者

(委員)

会長	成相 善美	(出雲市体育協会会長)
副会長	安喰 公美	(レクリエーションスポーツ代表)
委員	青木 敏章	(出雲市体育協会副会長)
	久家 彰	(出雲市生涯学習委員)
	佐々木由紀子	(出雲市スポーツ推進委員)
	手銭 俊夫	(出雲市小学校体育連盟会長)
	野津 修一	(出雲市身障者福祉協会副会長)
	寺本 淳一	(出雲市議会スポーツ推進協議会会長)
	三島 武司	(出雲市教育委員会副教育長)
	矢田 栄子	(特定非営利活動法人出雲スポーツ振興21事務局長)
	山根千恵美	(出雲市スポーツ推進委員)

(11名)

※欠席者4名(天根佑介委員、大森正義委員、水津則義委員、藤江勲委員)

(事務局)

三代 均	(市民文化部長)
矢田 和則	(文化スポーツ課長)
山代 尚幸	(文化スポーツ課スポーツ振興係係長)
原 彩恵子	(文化スポーツ課スポーツ振興係副主任)

(4名)

### 4. 会議内容

#### (1) 成相会長挨拶

皆さんおはようございます。

早いもので、今回で第6回の出雲市スポーツ振興審議会ということで、今年度最後となり、答申を出すところまで至った。本当にありがとうございました。

今日は、このことについてのパブリックコメントや、答申案について皆さんから御意見をいただき進めたいと思う。忌憚なき意見をいただきたいと思う。

中国ではオリンピックが始まった。日本選手の活躍を応援しながら、わくわくした気持ちで過ごしたい。また、出雲ではまだまだコロナの感染が広がっている。子どもたちの環境も市民の環境も大変だと思うが、その先に向かって、5年先に向かって、答申がいい形でできればと思っているので、よろしく願います。

#### (2) 議事

##### 議事① パブリックコメントの実施結果について

議事② パブリックコメントを受け修正した箇所について

議事③ 第2期出雲市スポーツ推進計画（答申案）について

（成相会長）

では、議事1「パブリックコメントの実施結果について」、2「パブリックコメントを受け修正した箇所について」及び3「第2期出雲市スポーツ推進計画（答申案）について」を一括して、文化スポーツ課から説明をお願いします。

（事務局：原副主任）

議事1（資料1）について説明

（事務局：山代係長）

議事2、3（資料2）について説明

パブリックコメントを受けて修正したもののほか、委員の皆様からの事前に御意見をを受けて修正した部分がある。

三島委員からの御指摘により、「1 計画推進のための役割 (4) 学校等 ③ 学校等は、スポーツ団体との連携による指導者の育成に努めます」（P. 24）としていたが、他の表現と合わせて、「指導者」を「部活動指導員」、「育成」を「育成・確保」という表現に改めさせていただいている。

続いて、本日お配りした差し替え資料をご覧ください。成相会長から御指摘をいただいたが、「2 スポーツを担う人づくり (2) 選手強化施策の充実」（P. 18）において、「東京オリンピック・パラリンピックの出場を目指しているアスリート」という文言になっていたが、すでに東京オリンピックは終わっている。前計画の文章がそのまま残っており、訂正、削除させていただきたい。併せて、全国大会、国際大会を対象としているため、全国大会の代表として国スポ・障スポを例示させていただきたい。

（成相会長）

議事1～3について一括して説明があったが、委員の皆様から、質問・意見等があるか。あれば挙手のうえ発言をお願いします。

（三島委員）

P. 18だが、「国スポ・障スポ」とあり、意味は分かるが、正式名称を記載したらどうか。

（青木委員）

同意見である。島根県で行われるものについては略称を使用し、そうでないものは正式名称を使用するという形で筋を通したほうがよいと思う。

（三島委員）

P. 18において、「島根県において島根県国スポ・障スポが開催される」とあるが、「島根県において」という表現は削除してよいのではないかと。

（事務局：矢田課長）

御意見のとおり修正する。

(矢田委員)

パブリックコメントも事前に目を通したが、非常によい御意見をいただいている、真剣に考えてくださる市民の方がいらっしゃるよかったです。

計画自体も、子どもたちの裾野を広く、どんどんスポーツをやりたい子の道筋も、楽しく続けていくという基本的なところの道筋も通って、よい計画が出来上がったのではないかと思います。

(手銭委員)

パブリックコメントで御意見いただいた中に、数値目標が本当に達成できるのかということが書いてある。週1回のスポーツ実施率の目標値は、3割から6、7割まで倍増するような形である。最近よくチラシで見るが、民間のヨガやジム、例えば斐川のアリオンの2階にある24時間のジムなど、使いやすく行きやすいスポーツ施設がある。成人の方はそういうところに健康づくりのために通われ、民間の活気あるところに行くことによってスポーツ実施率が高まっていくような感じがする。

一方、市営スポーツ施設利用者数の目標値もあり、これも73万人から91万人という目標値で、人口減少の中では結構チャレンジな数だなと思ったが、民間に利用者が流れると、市営の方が非常に厳しくなっていくような気もしている。

やはり、スポーツ人口ということにとらえれば、民間と市で連携タイアップしつつ、民間のジムであるとか、カーブスであるとか、そういうところへ行けば、何かポイントが出るなど、民間と市が別々に行うよりは、タッグ組んだほうがスポーツ実施率も施設利用者もお互い相乗して増えていくような感じがしている。

もう一つ感じたのは、環境はすごく大事だと思っており、昨日、校区内をパトロールしていたら、多伎の風車の人気のない坂道で、高齢者の方が寒い中歩いておられたりした。市民がスポーツできる環境、特にウォーキングやサイクリングコースで、最近それに伴って交通死亡事故が多い。スポーツ人口の増加を図るうえでは、車の事故の心配がなく、安心して歩ける、あるいは自転車に乗って体力づくりに取り組めるような環境が、小学校区ごとというか、地区、町ごとに整備してあって、この地区はここを歩くと健康づくりにいいというアナウンスがされると、地区、町ごとにいいスポーツ実施が達成できるのかなと思っていたところである。

(成相会長)

他に何かあるか。今日が最後であるため皆様一言ずつお願いする。

(山根委員)

先ほどお話があったとおり、よい答申ができたのではないかと思います。

残念ながら、こうやってやりましょうといっても、コロナの関係で制限がかかり、スポーツができないことにすごく残念な思いがある。

私は実際に子どもたちに関わったり高齢者の方に関わったりすることがすごく多い。本当はやりたいが、コミセンが使用中中止になっていたりする状況があるので、ぜひこの答申が計画として策定されたら、実施できることが何よりだと思います。

先ほど手銭委員から話があったが、私はスポーツ推進委員で、健康づくり推進員の任命も受けているが、コミセンごとにウォーキングコースを作っているところもあり、比較的若い高齢者は動いておられる方が多く、ウォーキングされている方も多い。このあたりのターゲットについては、現状は大丈夫ではないかと思います。

働いている方や、コロナの影響で子どもたちや若い人たちに制限がある状況なので、その方たちが運動の機会を持たれるといいと思う。

#### (寺本委員)

計画については、よいものができたのではないかと思います。大事なのは、計画を立てて、いかに成果を出していくかということだと思います。スポーツというところに意識が強くなってしまっているが、例えば、高齢者の方などは引いてしまうことがあるのではないかと思います。推進計画はスポーツといいながらも、健康増進というところも主眼において、健康維持していくためにはスポーツが大切だという意識づけをどのように広げていけるかということが非常に大事だという気がしている。また、子どもたちのスポーツ環境は、我々がスポーツを行っていたときとははるかに環境が変わってきていて、科学的データに裏付けされたスポーツも増えてきている。一番怖いのは怪我だと思うが、怪我をしたらスポーツをあきらめてしまうということもあるため、特に今後、指導者の指導というのが非常に重要になってくるのではないかと思います。推進計画をしっかりと進めていくためにも、それぞれの立場でどのように協力していけるかということ、それぞれが考えて実行していき、スポーツ推進計画の目標値を達成できるようにやっていけたらと思っています。

議会においても、スポーツ推進協議会という組織を立ち上げており、議会の立場からも推進計画を進めていきたいと思っているのでよろしく願います。

#### (安喰副会長)

とてもよい推進計画ができたと思うが、パブリックコメントについて、市民の方が見てくださり、よい意見をくださったことに感心した。これを取り上げ、市民の声を反映することができたので、なおよかったのではないかと思います。

昨日、仲間で話をしていましたが、この出雲市スポーツ推進計画は出雲市全体のことである。私たちがコミセンなどいろいろな場所を使用させてもらうが、文化スポーツ課だけの問題ではなく、各地域のコミセンを使用する若い人たちや、高齢者のグループなど、横に手を広げられて、手を一緒に携えて、計画を進行していくのではないかと思います。私はダンスをしているが、ダンスは人に出てきてもらわないとできない。今はコロナ禍なので全部中止している。さっき寺本委員がおっしゃったように、動いてない人を急に動かすと怪我をする。そのようなコロナや計画の情報が入ってどのように対応するかということは、自分たちだけでは情報がなかなか入らないので、地域の人やほかの団体に聞いたり、横の連携をもう少し広げて実施できたら、とてもいい素晴らしい出雲市スポーツ推進計画になると思う。

#### (野津委員)

障がい者団体として参加させていただきありがとうございます。意見も反映させていただいたと思っています。

昔、大阪の障がい者の大会へ行ったことがあり、会場に10台以上おける地下駐車場あったが、全て車いす専用であった。参加した人にどうしてこのようなことができるのか聞くと、大阪の障がい者は主張されるとのこと。私も島根県人気質でなかなかそういうことは言えないが、障がい者ももっと少し前に出てきていいと内心では思っている。

(佐々木委員)

推進計画は良いものができたと思う。新体育館を中心に、生活する場のコミュニティの場であり、運動のできる環境になればと思う。私の住んでいる地域は児童数が少なくなり、廃校の危機になっている。また、高齢化していくと運転が難しくなってくると思うため、そういう体育館が利用しやすいとよい。体育館の利用も、何年か前に施設利用料がかかるようになり、一気に使用率が下がったということがあった。そういうところも含めて考えていただきたい。

児童クラブの子どもたちの指導にも関わっていきたいと思っている。そして総合型地域スポーツクラブにも関わっているが、今あまり連携がうまくできていない。計画においては、連携を図っていくと記載があるので、本当に目に見える形で実施していただけたら嬉しい。

(久家委員)

スポーツ推進委員はこの計画をいただいているが、できた計画が一般市民の方にどれくらい浸透するかということが問題であると思う。活用していただければ何にもならないので、配布先はいろいろな団体や機関などあらゆる所へ、目の届くところへ配置していただくと非常によいと思う。

(青木委員)

審議会の中で、スポーツの定義を加えたときに、根本的にはいろいろな段階、レベルでスポーツを楽しむというのが裏のキーワードで、競技スポーツとして楽しんでいくのもあるが、自分の健康を含めて楽しむということが盛り込まれた推進計画となっているということが市民の皆さんに伝わっていくとよい。

もう一つ言うと、環境は場のこともあるが、少し前であったが、子どもは場を作らないと遊ばないという話もあり、それにはプログラムみたいなものが必要であり、その情報発信みたいなものがすごく必要なことである。それも今は SNS でかなりいける。SNS の力はすごく大きく、やっている様子を Youtube など流すと何万回再生され、行ってみたい、こんなこともできるのかとそういうものもあるのかなと思っている。

(成相会長)

ありがとうございます。それでは私からも一言。スポーツというと推進計画でもあるが、年齢層によっては全然スポーツ、運動そこら辺の動きができていない。例えば各町内の体協へ行ってみると、体協の役員をする人がお年寄りで、私たちはスポーツができない、なかなか役員ができないという話がある。年齢層はみんな違うが、自分も気が付いたら高齢者になっており、スポーツでなく運動という形で考えて、何ができるかなと考えたら、散歩がウォーキングであり、休みの日にイオンに行くと一階からどういう店があるか、端から端まで奥さんと歩いてみた。全部見て回ると結構な距離を歩いている。寒いときはショッピングセンターを端から端まで歩くだけでも結構いい運動になる。そのような形で楽しく運動ができますよということが市民の皆さんに伝わっていけば、年齢層によっては体力増進につながると思う。それと専門的なスポーツについて、この間ありがたいことに、本田圭佑さんと市役所で1時間ばかり話をさせてもらった。子どもたちを指導するに当たって、体が動く現役の選手、例えばサッカーであれば、大社高校の全国大会へ出場したような生徒が、小学生を指導したり、一緒にやってみたりすることによって、子ども

たちが球のけり方、スピードなど実際に見て、本物がわかっていくといったことをおっしゃっていて、本当にそうだと思った。現役で活躍している人達が、子どもたちと一緒にやるとか、指導してくれるとかそういった形ができてくると、専門的な競技も強くなっていくのではないかと。総合的なこういった答申案ができたので、そういった部分が市民の皆さんに浸透していくようになれば、実施率も大きく上がっていくのではないかと思う。

(三島委員)

今気が付いたが、19ページに「③ 国民スポーツ大会を見据えた競技力向上」とあり、いいことだと思うが、前段で国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の積極的な支援をすると書いてある中で、ここで全国障害者スポーツ大会の記載がないのはあえてなのか、その辺を確認したい。

(事務局：矢田課長)

普及、促進というとらえ方をして、14ページ「(2) 共生社会実現に向けたスポーツ活動の推進 ① 障がい者のスポーツ活動の推進」で記載をしている。

(矢田委員)

現実として、障がい者スポーツ協会というのが出雲市にはなくて、障がい者のスポーツ競技力向上の母体となる核というのが無い。野津委員、サンアビリティいずもを拠点として団体を一緒に作らないか。島根県障害者スポーツ協会の支部になるかどうかは県協会の判断であるが。

(野津委員)

以前、支部を作るという動きがあった。何地区かには団体ができている。その時期に自分もいろいろ動いたが、精神、知的、全て入ると、統括する団体というか、まとまった団体が精神などにはなく、事務局的なことがなくて断念した。

(矢田委員)

出雲で活動されていることは承知もしているが、知的障がいであれば、スペシャルオリンピックスであったり、広い範囲でされている。

(野津委員)

身体は出雲市身障者福祉協会ができると思うが、島根県障害者スポーツ協会はすべての障がいを網羅しており、今の流れからいくと、身体だけで団体を作るとするのは、なぜ出雲市だけという話になると思う。知的と精神のまとめの的などところがないなくて断念したが、その辺について、追々機会があれば矢田委員と私とで話をさせてもらう。

(矢田委員)

国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会をきっかけにして、つながりができるといいと思っている。今は個人情報保護などがあり、どこに、誰に、コンタクトを取っていいかということが分からない。逆に窓口を作って、口コミとかで情報を得るしかないのかなとぼんやりと思っていた。そういう組織が今日明日直ちにとすることは難しいことだが、身体、精神、知的、いろいろな障がいを持っている方に

も楽しんでもらえる場づくりをし、その中で実際に競技をやりたいという方が出てくれば、その支援をできるような形に、次の計画を作るときにはそういう方向ができるといいと思う。ぜひ相談させていただきたい。

(野津委員)

そういうお考えをお持ちということであれば、私もお話を持っていけたらと思う。

(成相会長)

先ほどの三島委員の御意見についてはどのようにするか。

(事務局：矢田課長)

今の御意見をお聞きすると、今の段階では普及・促進という形とさせていただいているが、次の計画の中で、そういった体制が整い、競技力向上という部分ができるような形になったら、改めてその時に加えるようにしたい。

(矢田委員)

実際、計画に書いて、誰がやるのかという話になると、実際はないのかもしれない。障がい者団体がやるということになると、障がい者団体からすればスポーツの普及などは1部分でしかないはずで、それが目的ではない。

(野津委員)

一時、島根県障害者スポーツ協会が、トップアスリートを育成するというので、確か車いすの競技を練習をさせていたと思う。今の段階では、県がやるという形で進むと思う。出雲市単独では、組織的なことがあって難しいと思っている。

(青木委員)

18ページの「(2) 選手強化施策の充実 ① ジュニア期におけるアスリートの育成強化、② トップアスリートの競技力向上、③ 国民スポーツ大会を見据えた競技力向上」を読むと、元々が選手強化スタッフの充実ということで進んでいって、①がジュニアで、②がトップアスリートで、③が国民スポーツ大会を見据えたと書いてあるが、これは島根県の2030年のことで、これを目指しての競技力向上であれば、2030年には障がい者スポーツの方も当然あるので、ここは併記しておいて、単体というよりは、一部としてやっていくということが必要だと思うが、いかがか。確かにどこでやればいいのかわからないということはあるが、2030年には島根県に選手がいなかったのかという話にもなるのでは。

(成相会長)

それでは、ここは併記でよろしいか。そこへ向かっており、出雲市からも選手として出場してもらおうということもある。

(全委員)

ー了承ー

(成相会長)

本日用意された議事は以上になるが、その他何かあるか。

(矢田委員)

計画の件ではないが、出雲市の文化スポーツ課にお願いしたい。私は母体が出雲スポーツ振興21であるが、市の計画にのっとなって、いろいろな事業をさせていたでいる。毎年実績の報告を市から審議会へ出されているが、例えば総合型地域スポーツクラブが、過去に設立の支援を受けて、今でも頑張っていて続けておられるところがたくさんあるが、活動を続けていच्छるような実績が出雲市には出てこない。例えば出雲スポーツ振興21のいづもスポーツクラブ21であれば、コロナ禍前だと2,500人の会員がいて、その方々が週1又は2週間に1回、施設に来てスポーツをしていच्छる。ファーストクラブもそうだし、はまやまスポーツクラブも週1回、たくさんの方が活動していच्छる。出雲市的には予算がついてないと実績に上がりにくいと思うが、気持ちとしては市民の活動として、ボランティアとして一緒にやっているつもりなので、そういうところも取り上げて書かれたらいかがか。そしたら出雲市として実施している実績がたくさんある。表には出てこないが応援もなされ、陰でやっしてくださっていることはたくさんあるため、予算がついておらず実績に上げにくいかもしれないが、実績に挙げてもらおうと、我々も励みになるので、ぜひ書いていただけたらと思う。

それから、手銭委員がおっしゃっていたが、官民連携の取り組みはあってもいいと思う。トレーニングジムがたくさんできると、公共施設の中のトレーニングジムの利用者は減ってくるが、市民からしてみたら選択肢がたくさん増えて、自分の好みのところで、好きなスポーツができるのですごくよいことだと思う。なかなか機械の更新ができない中で、無理に新しいものを入れるというよりは、もっと何か必要なこと、例えば高齢者にはこういったこと、子どもにはこういったことといったことに、方向転換されてもいいのではないかと思う。平成27年に出された行財政改革の中で、公共施設のあり方について出されていて、計画中、次に何か起こったらこうしますというものもスポーツ施設の中にもあったはず。民間の方がたくさん出てこられて、幸いこの5、6年、事業を撤退されたところは1件も無いと私は認識している。スポーツされる市民がたくさんおられることはいいことで、逆に潰してはいけないなと思う。今後のことではあるが、民間事業者に何か協力してもらえらるようなこともあればよいと思う。

(成相会長)

ありがとうございます。終わってからでも、何かお気づきの点などあれば、事務局へファックスやメールをしていただければと思う。

### (3) その他

(事務局：山代係長)

本日ご指摘いただいた修正点については、成相会長に最終確認をしていただき、2月8日16時から、成相会長、安喰副会長にご出席いただき、市長へ答申いただく。

また、答申後、第2期出雲市スポーツ推進計画を3月議会で報告させていただき、その後、市民の皆様へホームページや冊子の配布によってお知らせさせていただき予定としている。

(事務局：矢田課長)

それでは、最後に部長から御挨拶させていただく。

(事務局：三代部長)

皆様ありがとうございました。今年度は6回ということで、計画策定年次はこういった回数になるが、皆様にはかなり御負担をおかけして申し訳なかった。おかげさまで、答申案が確定したところである。先ほど御意見を頂戴したスポーツの幅のお話、幼少期から高齢期まで、いろいろな方にスポーツに携わっていただきたいという気持ちは、委員の皆様方と我々事務局、一緒だと思っている。そういう意味で、今回できる計画は、計画を作ることが目的ではないと思っている、実行に移して、5年後をどういう形で迎えるかということである。目標値も高めのハードルを設定したところが、5年後のこの時期に、高いと設定したハードルを何とか超えられたというような総括ができればと思っているので、今後ともよろしく願います。

(事務局：矢田課長)

以上で第6回出雲市スポーツ振興審議会を終了する。  
本日はありがとうございました。